

令和5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	認定 NPO 法人フリースペースたまりば		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input type="checkbox"/> 一般助成	<input checked="" type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ 福祉的課題をもつ子どもの豊かな育ちを支える食支援の可能性
助成事業名	福祉的支援を必要とする子どもとその家族を食を通して地域全体で支えるしくみづくり		
事業の目的	食支援を通して、多様な福祉的課題を抱えるすべての子どもとその家族が食支援を入りに、安心して育ち、生活できるように、新しい食支援のあり方（こども食堂、フードパントリー+α）と地域全体で支える仕組みのモデルづくりを行う。		
事業概要	<p>下記の2つの事業を行なった。</p> <p>1) 食支援の実践とそこから見えてくる課題の分析：年間を通じてコミュニティスペースえんくるにおいてフードパントリー及び「えんくる食堂」（こども食堂）を運営し、延べ2072人に6330kgの食料を配布した。その関わりを通じて、福祉的課題を抱える子どもやその家族と出会った。この出会いと関わりを元に2)の調査を実施した。</p> <p>2) こども食堂等食支援に寄せられる困りごとと支援に関する調査 年度前半はコミュニティスペースえんくるでの実践から課題を分析し、9月11日に第1回調査検討委員会を行なった。その中で、表に掲げた食支援と並行して地域や支援につながる「裏メニュー」が重要である、とのことと下記の3つのリサーチクエスチョンに的を絞り、ウェブ調査票を作成することとした。</p> <p>1) こども食堂等食支援活動において困りごとはキャッチされているのか 2) どんな困りごとが寄せられているのか？ 3) 活動をしている団体/個人には、相談できる人員・体制、連携先（＝裏メニュー）があるのか？</p> <p>上記について、神奈川県内のこども食堂等食支援団体・個人を対象に、web調査を行なった。（2024年1月18日～2024年2月5日）60名の回答を得たのに加え、来年度ヒアリング調査の協力意向を多数得ることができた。また予想以上に、多くの自由記述回答を得ることができ、意義深いものとなった。</p> <p>調査を通じて、まず明らかになったのは、あらゆる団体/個人が、SOSをキャッチしていた現状である。これは、食支援の場が困りごとをキャッチしやすい「場」や「機会」になっていたこと、さらに、食支援を入り口として、子ども・保護者が直面する食以外の生活困難を把握しているということであった。今回大きなテーマの一つであった「ヤングケアラー」も20%の団体・個人が何がしかの形でキャッチしていた。食支援で「かかわること」を通して形成される信頼感と親密さは、保護者・子どもがフランクに困りごとを語ることを可能とさせると言えるのではないかと提起された。また、多くの団体/個人が、連携先を持っていることがわかった一方で、自由記述欄には、連携の難しさが多く寄せられた。実際に連携していくには、「顔が分かる」だけでは不十分で、話す機会があり、考え方や価値観、人となりがわかって「信頼できる関係」を作っていかなければ、難しいようだということも調査検討委員から指摘があった。</p> <p>●調査検討委員 椎野 修平（日本NPOセンター特別研究員）/新保 美香（明治学院大学 教授）、長谷川 俊雄 social work lab MIRAI 所長 ※本調査報告書の送付を希望される方はメール（info@tamariba.org）までご連絡ください。</p>		
成果や課題	本調査を通じて多くのことが明らかになったものの、具体的な状況や食支援が、公的な支援体制やネットワークの中で、どう役割を担い、地域に位置づけるのか、向かう先は見えていない。そのため、来年度以降、大きく2つのことが課題になると感じている。		
今後の展望	上記に課題に対し、各団体/個人の状況をより詳しく知ること、「目指す姿」を描いていくために先進地の取り組みなどを知る必要がある。来年度は上記を通じて、ヒアリングを行い、福祉的課題をもつ子どもたちへの食支援の可能性と地域のあり方を描いていきたい。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	 		